

**製品名: RERG ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17028**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	RERG
別名	RERG; Ras-related and estrogen-regulated growth inhibitor
遺伝子 ID	85004.0
SwissProt ID	Q96A58
免疫原	RERG 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 70-150

**背景**

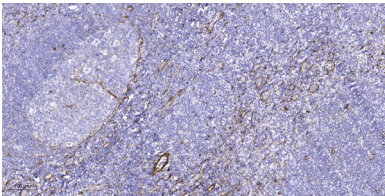
RERG は、GTPase の RAS スーパーファミリーのメンバーであり、細胞増殖と腫瘍形成を阻害します (Finlin et al., 2001 [PubMed 11533059]).[OMIM 提供、2009 年 3 月];疾患:RERG 発現の消失は、乳がんの腫瘍形成に寄与する可能性があります。RERG 発現は、

臨床予後が悪い原発性乳がんのかなりの割合で低下または消失しています。REGG の高発現は、長い無再発生存期間と相関しています。機能:GDP/GTP に結合し、固有の GTPase 活性を有します。GTP よりも GDP に対して高い親和性があります。細胞株では、過剰発現により増殖速度、コロニー形成、および腫瘍形成能が低下します。誘導:エストラジオールによりアップレギュレーションされます。タモキシフェンによりダウンレギュレーションされます。類似性:小型 GTPase スーパーファミリーに属します。Ras ファミリー。組織特異性: 心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、皮膚、腎臓、膵臓で検出される。エストロゲン受容体陽性乳がん由来細胞株では検出されるが、エストロゲン受容体陰性細胞株では検出されない。

## 研究分野

シグナル伝達; セカンドメッセンジャー; ヌクレオチドメッセンジャー; GTP; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; Ras ファミリー; 成長因子/ホルモン; ホルモン; がん; 腫瘍タンパク質/抑制因子; 腫瘍抑制因子

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。